



腸管ウイルス本年初の死亡者 児童の兆候に留意をと南投衛生局

風傳媒台灣好新聞報 www.storm.mg 2016-09-26 19 : 10

記者：扶小萍 / 南投報道

衛福部（宮本注：衛生福利部）疾病管制署は先日本年初の腸管ウイルス重傷死亡事案を発表したが、北部の2歳女兒1名が、腸管ウイルス（EV71型）に感染したことが検査で判明したとの通報があったが、その後、残念ながら心肺不全及び敗血症により亡くなったと発表。南投県府衛生局は、26日、県内ではこれまで腸管ウイルスの重傷患者は出ていないが、腸管ウイルスの感染力はきわめて強く、学齡来前の嬰兒や幼兒はハイリスクグループにあたるため、軽視してはならないと発表している。

衛生福利部疾病管制署情報では、南投県内では腸管ウイルスの外来受診が徐々に増えてきており、衛生局が本年5月に学校に行き、正しい手洗いの方法などについて指導をしていたが、当局は、日頃から子供たちがきちんと手洗いをする習慣を養うように躑をすること、外で遊ばせる場合には、屋外レジャー活動なるべく選び、人が密集している室内を避けること、病気が疑われる人との接触機会を減らすことにより、腸管ウイルスの脅威から身を遠ざけることが重要。また、公共の場所にでる場合は、腸管ウイルスに感染する恐れがあるので、家族は、個人と児童の衛生状態や良好な生活習慣を養うようにと再び親たちに注意喚起している。

衛生局は、3歳以下の子供をかかえる家庭では、学齡期前の嬰兒幼兒は、ハイリスクグループに入るため、もし、医師に腸管ウイルス感染を診断された場合、家で休ませてその他の嬰兒や幼兒との接触を避けること、子供たちの健康状態に留意し、もし、子供が眠りから覚めない、意識不明になる、活力不足や、手足の無力感、筋ポンプ作用（理由なき怯えや突然の全身筋肉収縮）、持続的な嘔吐、せわしない呼吸或いは心悸亢進の急速な悪化など、重症化前の前兆が現れた場合には、速やかに病院につれて行き治療を受けること、慢心せずに治療チャンスを逸しないことが重要だと警告を発している。

<http://www.storm.mg/localarticle/170782>

..... 以下は中国語原文

腸病毒爆今年首例死亡 南投衛生局籲留意幼童病徵

風傳媒台灣好新聞報 www.storm.mg 2016-09-26 19 : 10

記者扶小萍 / 南投報導

衛福部疾病管制署近日公布今年首例腸病毒重症死亡個案，北部一名2歳女童，經通報檢驗確定感染腸病毒71型，不幸因心肺衰竭及敗血症死亡，南投縣府衛生局26日表示，縣内目前雖無腸病毒重症個案，惟腸病毒傳染力極強，尤以學齡前嬰幼兒為重症高危險群，絕不可掉以輕心。

依據衛生福利部疾病管制署監測資料，南投縣内腸病毒就醫的門急診人次有攀升的情形，衛生局在今年5月間就曾到學校進行正確洗手的宣導，該局再次提醒家長，平時應養成幼兒正確勤洗手的習慣，如外出遊玩應多選擇戶外休閒活動，避免出入擁擠的室內場所，減少與疑似病人接觸的機會，遠離腸病毒的威脅，出入公共場所仍有機會感染腸病毒，請家長謹記並注意個人及孩童衛生、養成良好生活習慣。

衛生局並提醒家中如有3歳以下幼兒家長，學齡前嬰幼兒為重症高危險群，如經醫師診斷感染腸病毒，應在家休息並避免與其他幼兒接觸，也請民眾特別留意幼兒健康情形，一旦出現嗜睡、意識不清、活力不佳、手腳無力、肌抽躍（無故驚嚇或突然間全身肌肉収縮）、持續嘔吐與呼吸急促或心跳加快等重症前兆病徵，應立即儘速送至醫院治療，掌握治療契機，請勿掉以輕心。

本文經轉授權自台灣好新聞